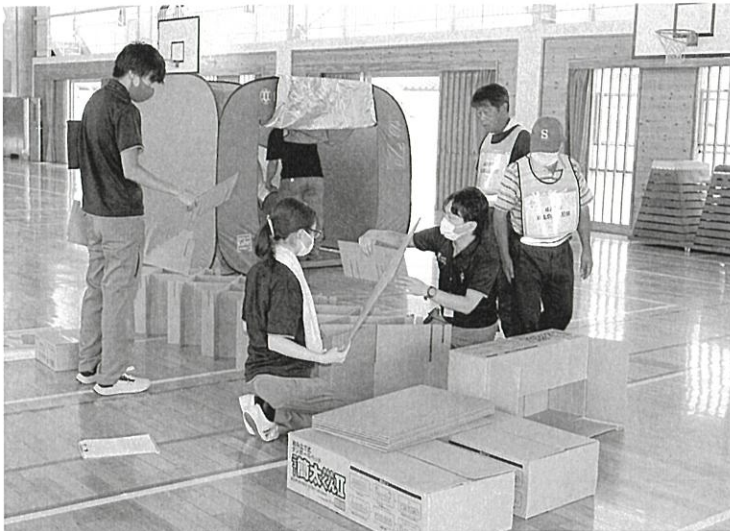


こみこみ

日立市のコミュニティ情報紙

発行：日立市コミュニティ推進協議会
 編集：コミュニティ情報紙編集委員会
 〒317-8601 日立市助川町1-1-1
 日立市コミュニティ推進課内
 ☎0294-22-3111

No.51
 2023.9.5



□□□□□□□□□□

目次	
避難所開設運営訓練 市と協働で実施	1
市民への情報発信の強化 会長 鈴木 東男	1
安全で安心して暮らせるコミュニティ 地域の特色を生かし、創意工夫を重ね、 地域の課題解決をしていきましょう！	1
単会特集	
十王・日高・滑川・中小路	2
油繩子・諏訪・水木・久慈	3
コミュニティ環境活動交付金を活用 脱炭素社会に向けた活動へ最初的一步	4
公式インスタグラムを開設しました	4
コミュニティ活動ハンドブックを改訂	4
もっと日立が好きになる！ 日立の魅力再発見ウォーク	4

避難所開設運営訓練 市と協働で実施

7月29日、災害時の円滑な避難所開設を目的として、地域の避難所となる市内の各小学校及び中里小中学校体育館において市職員と各コミュニティによる避難所開設運営訓練を実施しました。

休日の午前9時に地震が発生したと想定。速やかに関係者が避難所へ向かい、9時半までに避難所へ集合。そして、災害時の初動体制に従い、備蓄倉庫内の備品の点検、小型テントや段ボールベッド組立、発電機の始動などを行いました。最後に、訓練に対する意見交換をして終了しました。

市民への情報発信の強化

会長 鈴木 東男
 各コミュニティでは、4年ぶりに開催されたイベントなどもあり、コロナ前のにぎわいが戻りつつあります。



これらの事業や日頃の地道な活動を、多くの皆さんに身近に感じていただけるよう、情報発信を強化していきます。

また、それぞれの地域の特色をいかし、コミュニティ同士の情報交換や成功事例の共有などを密に行い、地域課題の解決に向けて取り組みます。

安全で安心して暮らせるコミュニティ 地域の特色を生かし、創意工夫を重ね、地域の課題解決 をしていきましょう！

学区・地区	会長	交流センターTEL	学区・地区	会長	交流センターTEL
十王	川井 健一	39-2411	油繩子	白土 敏夫	38-7531
豊浦	大場 進一	43-5755	諏訪	持田 幸雄	33-3841
日高	志賀 勝弘	42-4050	大久保	岡部 光雄	34-0535
田尻	木下 禎浩	42-1552	河原子	鈴木 東男	33-3746
滑川	遠藤 一男	22-1654	塙山	西村ミチ江	34-5404
宮田	岩間 廣道	27-6835	大沼	佐藤 忠良	35-8329
中里	石川 諒一	70-8005	金沢	泉 聡二	36-3985
仲町	原 孝介	21-5564	水木	森山 和雄	52-3225
中小路	吉岡 保夫	22-6483	大みか	鈴木 重文	53-5211
助川	秋山 竹彦	23-0955	久慈	石川 善憲	52-0165
会瀬	須田 育愼	25-1577	坂下	大貫 健	52-3155
成沢	西 英信	35-5587	※お問合せ、ご相談は交流センターへ		

十王 宝くじ助成金でイベント用備品

「令和4年度宝くじ助成金」を活用してイベント用備品を整備いたしました。

お神輿を収納するための物置、イベント用テント、会場周辺等の環境整備のための草刈り機等を購入しました。

今年の「第34回十王まつり」でも大活躍しました。



滑川 ホタルの棲むまち

幻想的な光景を未来へ！を合い言葉に、里親さんと滑川小学校のホタル少年団が毎月清掃などを行い、地域一丸となって「ホタルの里」を守っています。

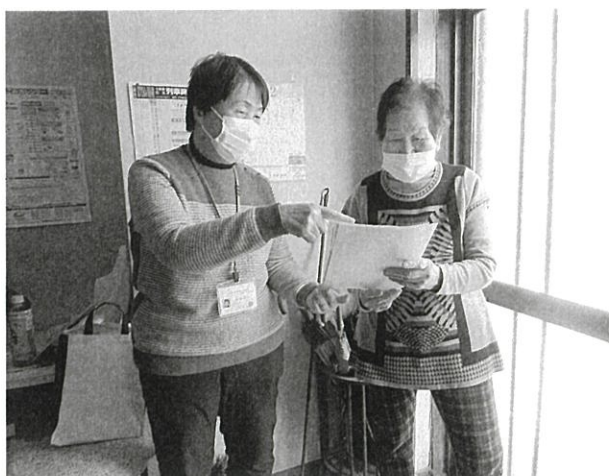
昨年、環境大臣より環境保全の功績を表彰されました。

飼育した幼虫を少年団が放流、6月にはホタルの乱舞が見られます。来年、ホタル観賞期間(6月上旬)にぜひ滑川へ！

日高 地域福祉協力員が見守り

日高では地区民生委員と連携した45名の地域福祉協力員が、避難行動要支援者名簿に登録している約200人の高齢者や障害のある方への声かけ見守り活動を行っています。

一人が3人から5人を受持ち、月一回の活動のほか、地震や台風時の安否確認などを行い、地域全体での見守りに力を入れています。



中小路 ぐるぐる♡マーケット開催

6月、学区のクリーンアップ活動と子ども用品の無料マーケットの二つを組み合わせたイベントを開催。小学生を含め、多くの地域の人々が参加しました。

大切なおもちゃだけど次の子が喜んでくれるならと出品してくれた子どもなど、地域の皆さんの温かい思いがあふれた一日でした。

油縄子 子どもたちも活躍！

油縄子学区では、6月4日に「ごみゼロの日」の一環として、地域の環境美化活動を小学校にも声をかけて行いました。小学生45名を含め135名が参加しました。

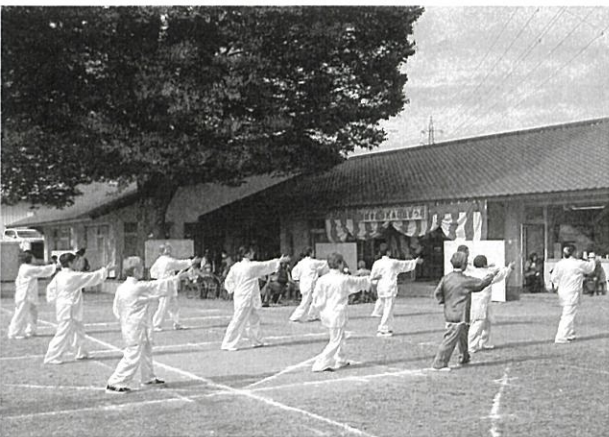
また、コロナ禍でできなかった、「夏のつどい」「盆踊り大会」も実施。さらに、「子どもの居場所づくり」「くさゼロ運動」を計画しています。



諏訪 コロナ禍前のイベント復活！

諏訪学区コミュニティ推進会では、今年は、コロナ禍で開催できなかったイベントを含め試行錯誤しながら取り組んでいます。

レクリエーション大会(10月)、ふれあい秋祭り(11月)、駅伝大会(12月)など、従来は自治会単位としていたイベントをオープン参加も可として、地域の皆様と地域を盛り上げ、楽しんでいます。

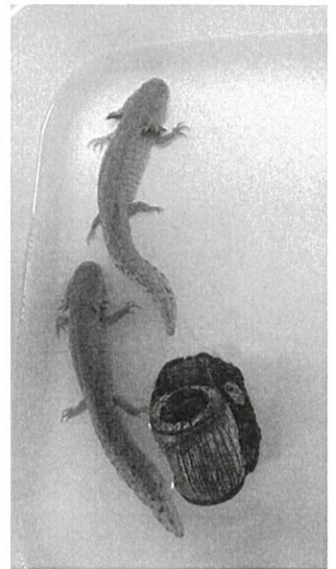


水木 皆で育てるウーパールーパー!!

令和4年6月、学区内に住む友人からウーパールーパーが300個以上の卵を生み、現在子育て中との連絡が入りました。

その後、70匹程を交流センターで預かり里親を募集。学区内、市内をはじめ、県内も小美玉市、大洗町、東海村、県外では、郡山市、気仙沼市など数多くの里親が生まれました。

水木交流センターでも2匹を飼育。当初約2cmだった体長も15cm程となり、現在では、水木交流センターの「アイドル」となっています。



久慈 防災まち歩き

6月7日、防災防犯部による町内の危険箇所を歩いて点検する「防災まち歩き」活動が行われました。災害が発生した場合に安全に避難することが出来るように実際に歩いて点検を行うと、避難の支障になりそうな点がたくさん見つかりました。ホームページ上で報告し、地域のマップ作りに結びつけていく予定です。

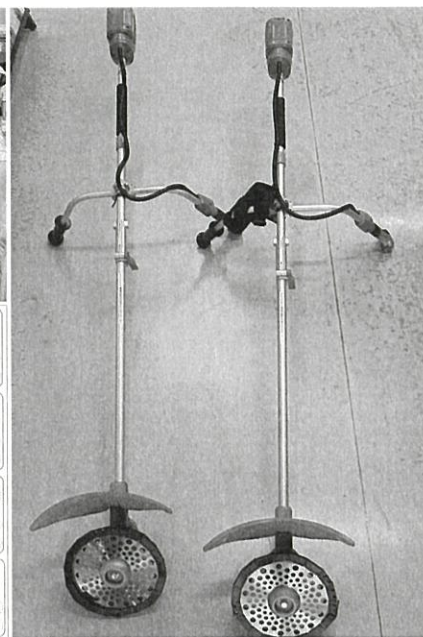
コミュニティ環境活動交付金を活用 脱炭素社会に向けた活動へ 最初の一步

2022年、日立市は「ゼロカーボンシティひたち」を表明、「2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロ」を目指すとなりました。

これを受けて、脱炭素社会に向けた環境活動を広く推進するため、新たな支援としてコミュニティ環境活動交付金が交付されています。各単会ではこれを原資に、事業の企画や事業の実施が始まっています。

環境美化活動、環境に関する普及啓発活動、省エネ・省資源化・脱炭素化、4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)、その他環境に関する自主事業がその対象です。

持続可能な世界を築いていくために、今生きている私たち一人一人にその対応が求められています。次の世代のまちづくりや個々人の生活に密接に関係しているといっただいでしょう。このためにも活動を長期に持続していかなければなりません。様々な角度からアプローチできますので、積極的に提案し進めていきましょう。



公式インスタグラムを開設しました

おまつり、再発見ウォークなど、楽しいイベントを中心に掲載します。ぜひ、フォローをお願いします。



@HITACHI.COMMUNITY

もっと日立が好きになる！ 日立の魅力再発見ウォーク

お住まいの地域に関わらず、どのコースにも参加できますので、ぜひ、たくさんのコースにご参加ください。

学区・地区	開催日
河原子	9月30日(土)
宮田	10月4日(水)
大久保	10月14日(土)
金沢	10月21日(土)
久慈	10月21日(土)
会瀬	10月22日(日)
成沢	10月22日(日)
油縄子	10月22日(日)
諏訪	10月22日(日)
仲町	10月29日(日)
大沼	10月29日(日)
水木	11月4日(土)
坂下	11月4日(土)
助川	11月9日(木)
田尻	11月12日(日)
中里	11月12日(日)
豊浦	11月18日(土)
滑川	11月19日(日)
日高	11月26日(日)
十王	12月2日(土)



コミュニティ活動 ハンドブックを改訂

「コミュニティ活動ハンドブック」は、コミュニティ活動を行うリーダーや市職員向けに作られたもので、活動の重要性や具体的な活動内容、これからの活動の方向性などが掲載されています。

初版発行は平成24年ですが、時代に合った内容に見直し、この度、改訂版を発行しました。

新たな時代にふさわしい組織を目指し、一歩ずつ進んでいけるようにコミュニティ活動ハンドブックを活用していきます。



歴代のこみこみはこちら